

# 東北地方 1か月予報

(2月21日から3月20日までの天候見通し)

平成16年2月20日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。寒暖の変動が大きい見込みです。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雨又は雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目、3～4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 2月21日(土)～3月20日(土)

1週目 : 2月21日(土)～2月27日(金)

2週目 : 2月28日(土)～3月5日(金)

3～4週目 : 3月6日(土)～3月19日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月27日

3か月予報：2月25日(水) 14時00分

暖候期予報：2月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	2.4	69.7	154.6	1.5	1.9	3.0
新庄	0.8	113.4	92.2	-0.3	0.3	1.4
若松	1.5	61.9	121.6	0.3	1.0	2.3
深浦	1.4	73.3	87.1	0.4	1.0	2.1
青森	0.7	77.5	112.6	-0.4	0.2	1.4
むつ	0.2	75.2	127.6	-0.8	-0.3	0.8
八戸	1.0	47.0	153.5	-0.2	0.5	1.6
秋田	1.9	89.1	105.4	0.8	1.5	2.6
盛岡	0.4	66.2	149.5	-0.8	-0.1	1.2
宮古	1.8	77.1	165.7	0.8	1.4	2.4
酒田	3.0	98.2	98.3	2.0	2.6	3.7
山形	1.7	64.0	127.9	0.4	1.2	2.5
仙台	3.3	59.1	165.8	2.3	2.9	4.0
石巻	2.6	55.2	173.4	1.5	2.1	3.2
福島	3.6	62.2	162.2	2.4	3.1	4.3
白河	2.3	56.1	167.8	1.0	1.8	3.0
小名浜	5.2	80.3	177.4	4.2	4.8	5.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6~+0.6	83~111	94~106
東北日本海側	-0.6~+0.6	90~108	92~108
東北太平洋側	-0.6~+0.6	78~115	96~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.9~+0.8	-0.7~+0.7	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.8~+0.8	-0.7~+0.7	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.8~+0.8	-0.7~+0.7	-0.4~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成16年2月20日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(2月21日~3月20日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。寒暖の変動が大きい見込みです。平年と同様に東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(2月21日~2月27日) :

明後日(22日)から23日にかけて発達した低気圧が通り、荒れた天気となるでしょう。期間の中頃は高気圧に覆われ晴れますか、期間の終わりは気圧の谷や寒気の影響で天気が崩れる見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(2月28日~3月5日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(3月6日~3月19日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れる日が多いでしょう。

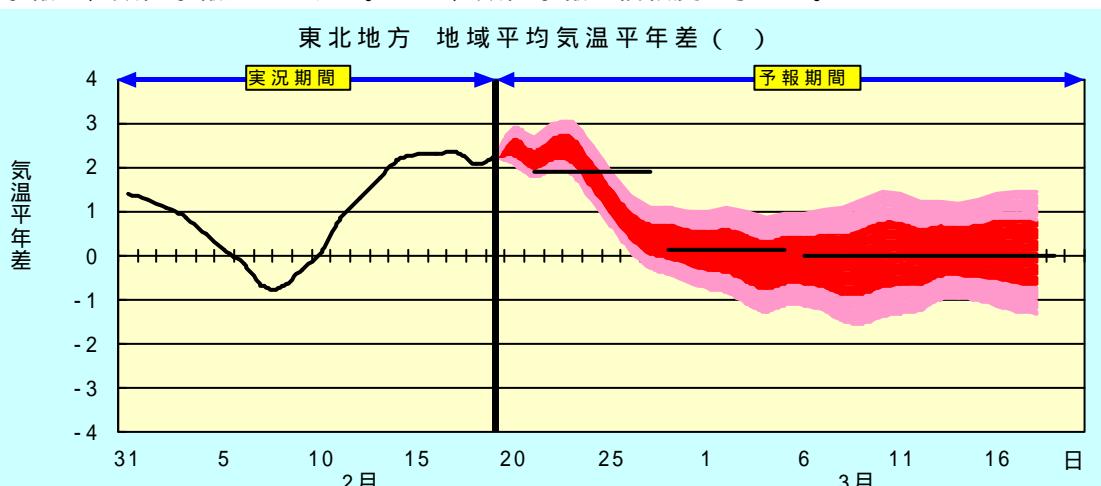
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	10.1日	1.9日	2.4日	5.8日
東北太平洋側	18.0日	4.3日	4.6日	9.3日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目と3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、数値予報通りとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

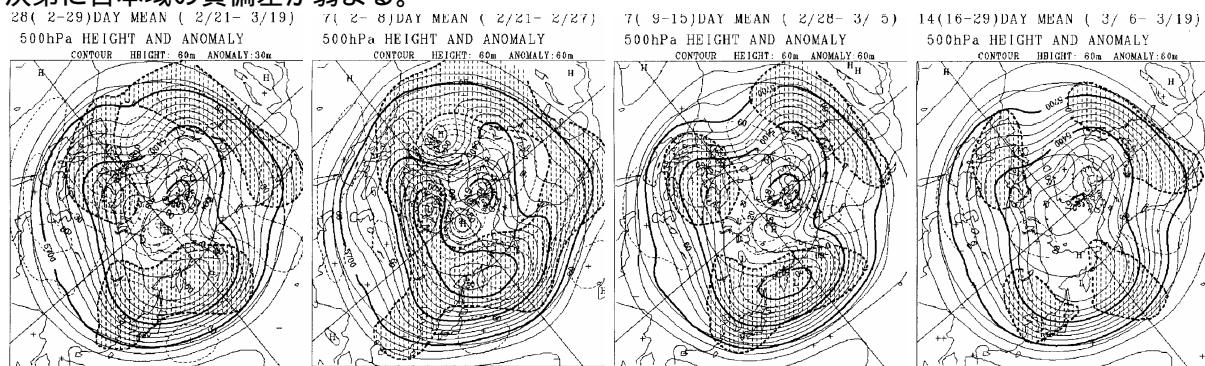


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極域は正偏差で中緯度はほぼ負偏差に覆われる。北日本は寒気の影響を受けやすいが、西谷で南からの暖気の影響もあり寒暖の変動が大きい。

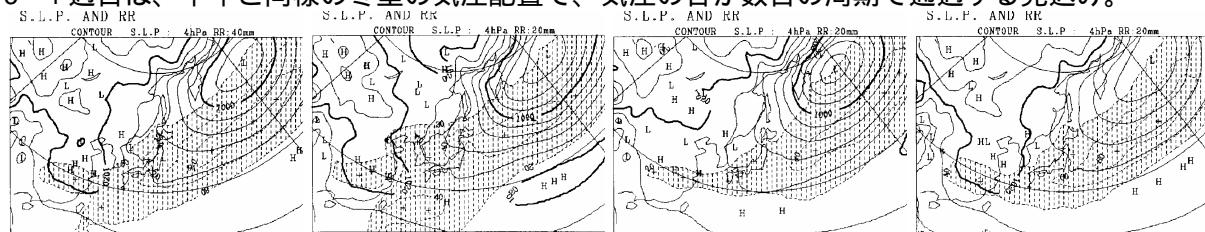
週別に見ると、1週目は日本域は正偏差で、カムチャツカ半島付近に中心を持つ負偏差域が中国大陸に延びる。2週目は、負偏差が日本付近を覆うが、西谷の傾向も見られる。3~4週目は、次第に日本域の負偏差が弱まる。



地上気圧と降水量：

月平均では、冬型の気圧配置だが、等圧線の間隔が広く周期変化。降水域の中心は日本の南海上で、日本海側にもかかる。

週別に見ると、1週目は冬型の気圧配置だが、日本海に低圧部。広く降水域に覆われる。2週目、3~4週目は、平年と同様の冬型の気圧配置で、気圧の谷が数日の周期で通過する見込み。



### 4. 最近1週間(2月13日~2月19日)の天候の経過

この期間、14日に低気圧が発達しながら北日本を通過し、その後強い冬型の気圧配置となった。15~16日にかけて強い風が吹き東北太平洋側でも雪となった所があり、交通機関などに影響が出た。後半は、東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では概ね晴れたが、19日は気圧の谷が通過したため、東北南部を中心に雨や雪となった。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で多い、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で少ない、東北南部で多い。

